

(様式第7号)

### 地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和2年6月28日

作成者：寺井正文

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

\*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
AC28期ふたば会古文書に親しむ会	
事業名	日時(期間), 場所
冊子『京都美耶解前編中』の製本	令和2年3月15日発行
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
<ul style="list-style-type: none"><li>・個人家所蔵の文書(歴史遺産)を例会テキストとして読み、翻刻した。</li><li>・関係する内容について読んだ人が理解しやすくするため注釈を編集し、挿絵・写真等を収集し著作権について、許可を得た。</li><li>・翻刻した史料を製本・配布した。</li></ul>	会員9 一般50 (59)人
	参加者数
	(9)人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
<p>歴史史料(現在では一般の人には読めない文書)を現代の人に読めるようにすることで、歴史史料を保存・継承し、地域の歴史遺産にする役に立てた。</p> <p>大学関係者(千葉大学、放送大学、熊本大学、神戸大学)や地方の歴史関係者(尼崎市立地域研究史料巻、大坂歴史懇談会、舞鶴地方史研究会、熊本史談会)及びふたば会会員、芦屋市民に配布し意見を交換し、喜ばれた。正本して間がないので多くの地域の方々との意見交換はこれから進めていく。</p>	
今後の展望(どのように継続、発展するか)	
<p>冊子の製本は、5年前の『京都美耶解前編上』に続いて2冊目であるが、前回同様多額の寄付でまかなった。今後あと3冊の発行が予定されるが、前回の課題でもあつた費用の算出については、会員の年会費から出費し、不足分は寄付でまかなった。引き続き今後の資金の調達について、助成金や冊子販売等について課題として検討したい。</p> <p>古文書の内容について広く多くの人にして頂けるように講演会の実施も検討したい。</p> <p>(『京都美耶解前編上』については2年前実施)</p>	